

令和2年度 第2回学校運営協議会 議事録

| | |
|-----|-----------|
| 校名 | 府立西淀川支援学校 |
| 校長名 | 大角 正弘 |

| | |
|---------|-------------------------------|
| 開催日時 | 令和2年11月30日(月)10:00~12:00 |
| 開催場所 | 府立西淀川支援学校 2階 図書室 |
| 出席者(委員) | 山中委員、大槻委員、西野委員、小川委員、生柄委員 |
| 出席者(学校) | 大角校長、矢野事務長、苅谷教頭、西田首席、山田首席 |
| 傍聴者 | |
| 協議資料 | 「令和2年度学校経営計画及び学校評価(中間報告)」について |
| 備考 | |

議題等(次第順)

- ・「令和2年度学校経営計画及び学校評価(中間報告)」について
- ・「学校教育自己診断」について
- ・その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

●令和2年度学校経営計画及び学校評価について中間報告を行い、これについて協議を行いました。

(ア)「学校経営計画および学校評価」について

今年度当初に掲げた「学校経営計画」の「中期的目標」に関して、校長より報告をしました。
校長:学校教育自己診断と関連付けて評価を行っているが、昨年度より全体的に高評価をいただいている。学校ホームページの活用に関しては、今年度50%アップした。中期目標の数字は全てクリアしており、常日頃の連絡帳のやり取りなどのコツコツとした積み上げで、保護者との信頼関係が成り立っていると考えている。

○中期的目標の5つのキーワード○

① 効果的な教育課程の編成

月に1回授業会議を行っており、どの教員も熱心に取り組んでいる。また、昨年度よりシラバスを作成しており、昨年度より発足した「カリキュラムマネジメント委員会」でその内容の精査やどう有効活用するかを検討を重ねている。「子どもたちを見る目をどう養っていくか。」が今後の課題。

② 児童生徒の実態を踏まえた教育活動

新型コロナウイルス感染症感染予防のための臨時休業中に、全校児童生徒向けと各学年向けに先生たちの動画を配信した。それが機会となり、登校が難しい生徒へのオンライン授業や、訪問籍の児童と学校行事の共有へと繋げることができている。これからも拡げていきたい。

③ 高い専門性と授業力の向上

昨年度より、アセスメントチェックリストに取り組んでいる。感覚と運動の高次化理論についての研修を月に1回行い、奈良県立奈良養護学校の先生を講師をお招きしてご指導をいただいている。

④ 地域のセンター校としての役割の強化

新型コロナウイルス感染症感染予防のため、本校主催の研修は中止となった。学校間交流に関しては、手紙や作品の交流などできる範囲で行っている。

⑤ 地域との連携、安全・安心な学校づくり

地域の関係諸機関と連携し、「津波対策をどうするか。」を検討している。千船病院、大阪市環境局と連携をすることができている。学校単独ではできることが限られてしまうので、連携をしながら進めていきたい。PTAともより関係を深めていきたい。

質疑応答

大槻委員: コロナに関する情報の、保護者連絡の基準はどうなっているのか? → 本校児童生徒・教職員に陽性者が出た場合は安心安全メールにて保護者連絡を行う。また保護者には、本人家族に濃厚接触者やPCR検査を受検した方が出た場合は学校に連絡してもらうようお願いをしている。府の指示にのっとって行っている。

(イ)「学校教育自己診断」について

先月行いました「学校教育自己診断」の集計結果と、その結果からの考察について、山田首席より報告。

【保護者からの回答を集計した結果からの考察】

○全項目に対する肯定的評価の割合は94%でした。加えて、それらの各項目はいずれも90%以上の高い評価をいただいた。

○校内設備の補修・修繕の対応についても、10ポイント以上好転しており、評価をいただいている。小学部教室の床面がフローリングになるなど教育環境が改善されたことに対しての評価と考えている。

○臨時休校中の映像配信などに対しても高評価をいただいている。

教職員からの回答を集計した結果からの考察

○「防災に関する取り組み」について14ポイント上昇している。

○「職員会議をはじめ部会や学年会の機能」については11ポイント下げている。コロナ渦で計画していた様々な取り組みの変更が重なり、物事の決定までの流れが通常とは異なった学校運営になったことによるものと考えている。

(ウ)その他、協議委員からの質問・意見など

生柄委員: 動画配信がとてもよかった。音楽の授業で先生たちの声を聴くと、とてもよく笑った。学校が恋しいのだということがよく分かった。これからもどんどん活用していただければ嬉しい。

小川委員: 今後を見据えて、プリント配付や連絡帳のデジタル化を進めてほしい。

西野委員: 初めて参加したが、学校の運営を知ることができてよかった。ICTの活用や高次化理論の活用についてなど、期待をかけている。保護者の方々にもわかってもらえるよう、発信してもらいたい。

大槻委員: PTA委員の選出方法についてどうなっているのか。

→ 抽選か輪番かで選出している。仕事も家庭もある人が多くなってきているので、PTA活動の内容を考えていくのも難しい。

小川委員: PTAの係になり、いろいろな活動に取り組むことで、学校のことがよくわかり、親同士のつながりも深まる。PTAの良さを伝えて広げようとしているが、なかなか難しい。

山中委員: 時代の流れもある。保護者とのつながりの価値を再認識することが大切。

●最後に

山中委員: コロナ禍でも行事を実施したり、またICT化も進めたりして、子どもたちの学習環境を整えることをコアにして、学校教育を進めておられると感じている。今、厳しい状況の中にあるが、安心安全に学校教育を進めていかれることを願っています。

次回の会議日程

| | |
|----|----------------|
| 日時 | 令和元年2月中旬から下旬予定 |
| 会場 | 本校図書室 |